

今月の フレンズ



▲イトウ珈琲商会本店(東区泉)の店頭の様子。喫茶店への卸売だけでなく、コーヒー好きの個人のお客様向けの直営店も経営しています。



▲本店の店内の様子。こだわりの詰まったコーヒーがずらりと並んでいます。店員の手作りのポップにも趣向が凝らされており、可愛い店内となっています。



▲コーヒーは同じ豆でも焙煎度によって味が劇的に変わるとのこと。焙煎する豆の量によっては焙煎機を変えるなど、味の変化がないよう柔軟に対応しています。



▲「社員それぞれが、自分で何が正しいかを判断する力を身に付けることが大切だ」と伊藤太一社長。



株式会社イトウ珈琲商会
イトウ タイイチ
代表取締役社長 伊藤 太一さん
イトウ アイコ
取締役 伊藤 愛子さん

古き良き喫茶文化を支える 名古屋の老舗

昭和26年に創業し、こだわりのコーヒーを提供し続けている老舗があります。株式会社イトウ珈琲商会の伊藤太一社長と伊藤愛子取締役に、経営手法や名古屋に喫茶文化を広めて行く取り組みについて伺いました。

創業以来、 ひと手間を大切に

当社は昭和26年に創業して以来、業務用コーヒーを中心に、こだわりのコーヒーを提供してまいりました。お客様に満足していただくために、豆の種類ごとに1種類ずつ焙煎をしてから豆をブレンドしています。豆ごとに焙煎するため手間がかかりますが、こうすることで、豆の美味しさがより引き立つのです。

コーヒー豆は農産物ですので、毎年味も少し違いますが、業務用コーヒーは味にブレがあつてはなりません。常に均一的な味にするため、焙煎の火加減や時間にくわえ、豆の色の変化や豆がはじける音など、五感を駆使して味に変化がないようにしています。

自由闊達な社風で生まれる 新たな挑戦

私の経営の基本方針は、社員が自ら考え、やりたいと思ったことに背中を押してあげることです。私からは基本的に何も指示しません。どんな商品を開発するか、どう営業をするかなど、社員自身にしっかりと考えてもらうよ

うにしています。

そうして生まれたのが「758 モーニングブレンド」でした。昨年、名古屋テレビ塔60周年を記念した産学連携プロジェクトに参加し、「名古屋らしいコーヒー」の開発に挑戦。モニタリング調査を行ない、その結果をもとに、苦味は強いが、後味のすっきりとしたコーヒーを開発しました。様々なメディアに取り上げられ、各方面から反響をいただいております。今年2月にあった名古屋商工会議所の「売り込み！商談マーケット」でも、本商品を高品質の食材を扱うスーパーにご成約いただくなど、ご好評を得ることができました。

「コーヒーで勝負する」 喫茶文化を広めて行く

昭和53年ごろをピークに、高齢化の影響もあり、喫茶店の数は減少傾向にあります。当社は、おもてなしの心を大切に、コーヒーの味で勝負する喫茶店を、支援し続けていく所存です。

これからも当社が提供するコーヒー豆を通じて、名古屋の喫茶文化に貢献していきます。



▲売り込み！商談マーケット
中小・小規模事業者の販路拡大を目的に、百貨店やスーパーなどの小売業に対して、直接売り込みができる名商の商談会。
次回の開催は来年2月。詳細は封入チラシをご覧ください。



▲イトウコーヒーの考える喫茶文化を体感してもらうために、安城市・知立市で営業している喫茶店、「遇暖(ぐうたん)」。挽きたてのコーヒーをお湯の温度や注ぎ方に気を配り、ご提供しています。



▲「いずれは新しい名古屋土産として、758モーニングブレンドを多くの人に広めていきたい」とこのコーヒーをプロデュースした取締役の伊藤愛子さん。



▲名古屋で古くから販売している3種類のコーヒーを120名の方に試飲していただいたところ、約8割の方が苦味の強いコーヒーを「名古屋らしいコーヒー」と回答。この結果をもとに758モーニングブレンドは開発されました。

今月の表紙説明



表紙中央にあるのは創業当初に使用されていた初代焙煎機。今でもイトウ珈琲商会本店で大切に保管されています。お二人が手に持っているのは、「アメリカンブレンド」と「シティブレンド」、そして本文でご紹介している「758モーニングブレンド」です。

Company Data【会社概要】

創業 昭和26年

所在地 東区泉1-7-25

TEL 052-962-3541(代表)

URL <http://ito-coffee.com/>

事業内容 コーヒー、紅茶、ココア、
コーヒー器具、
その他喫茶材料販売